

WHO緊急事態宣言終了

新型コロナウイルス3年3カ月

【ジュネーブ共同】出口
朋弘】世界保健機関（WHO）のテドロス事務局長は5
日、新型コロナウイルス感染
症を巡る緊急事態宣言「☆
NEWSの幕巻」を終了す

ると発表した。同宣言は感染
症などに対するWHOの最
高度の警告で、2020年1
月30日に出されてから約3
年3カ月続いた。ワクチン
供給の偏りなど保健政策上

のさまざまな課題も浮き彫
りとなった世界的な新型コ
ロナ対策は、節目を迎えた。
宣言終了は、ワクチンの
普及などにより重症化率が
下がり、各国が各種規制をほ

ぼ撤廃して日常生活が戻り
つつある現状を踏まえた措
置。だがウイルスが根絶され
たわけではなく、流行は続け
ており、感染力の強い変異株
も出現するなか、今後の展

望は依然として不透明だ。
テドロス氏は「新型コロ
ナが世界的な保健上の脅威
ではなくなったことを意味
するわけではない」と強調
し「各国が緊急対応の局面
から、他の感染症と並んで
新型コロナウイルスを管理してい
く段階に移行する時が来たとい
うことだ」と述べ、引き
続き警戒を呼びかけた。

日本では、8日から新型
コロナの感染症法上の位置
付けを5類に移行する。
WHOの集計では、3日
時点で世界全体の累計感染
者数は7億6500万人超、
死者は692万人に上って
いる。21年の年間死者数が1
60万人の結核の被害を上
回り、新型コロナウイルスは現代最
悪の感染症となってきた。
週間死者数は最も多かつ
た21年1月には10万人を超
えたが、今年2月以降は1方
人を下回っており、4月30日
までの4週間合計では1万
7459人と減少傾向が続
く。だが感染力の強い変異株
の出現は続き、オミクロン株
派生型「XBB・1・16」の
出現を受けてインドなどで

感染が拡大。テドロス氏は
「ウイルスは今も変異し続
けており、感染・死亡例の
新たな波を起す可能性が
ある」と警戒継続を訴える。
WHOは20年1月30日、
新型コロナウイルスの感染者781
8人の99%、死者170人
の全てが中国本土だった時
点で「国際的に懸念される
公衆衛生上の緊急事態」を
宣言。だが各国の反応は鈍
く、世界全体に感染が拡大
し、テドロス氏は同年3月
11日にパンデミック（世界
的大流行）と形容した。